

## 単元名 につぼんのうた みんなのうた(1)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつことができる。
- (3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

02070203\_001

【教材名】つき（歌唱） とんぼのめがね（歌唱） (P. 76)

【準備等】範唱CD，秋の月夜やとんぼの写真など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 様子を想像しながら「つき」「とんぼのめがね」を歌う。</p> <p>○範唱を聴き、聴唱法で歌う。</p> <p>★あきのようすを そうぞうしながら 歌おう</p> <p>○情景を想像しながら「つき」を歌う。</p> <p>○情景を想像しながら「とんぼのめがね」を歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「十五夜」「月見」など、秋の月について知っていることを発表させるなどして、日本人が昔から秋の名月を愛でる心や習慣があったことを確認しておく。</li> <li>・「ぼん」などの言葉を説明して、1番「出た月」、2番「かくれた月」、3番「また出た月」という時間経過やそれに伴う気持ちの変化を想像させる。</li> <li>【評】曲想と旋律など音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の表す情景や気持ちとを関わらせて歌う活動を通して「知識」を評価する。</li> <li>【評】自分の歌声及び発音に気を付けて歌う活動を通して「技能」を評価する。</li> <li>・旋律の動きが上がる1～3番のそれぞれの終わりのフレーズ（歌詞の「とんだから」「見てたから」の部分）は、歌詞の通り「広く」「大きく」意識させて、伸び伸びとした発声で歌わせる。</li> <li>・とんぼを追いかけたり、つかまえたりした経験を話し、とんぼの飛んでいる情景を想像させる。</li> <li>【共通事項】旋律 フレーズ</li> <li>【評】旋律の流れを聴き取り、聴き取ったことと感じ取ったこととを関わらせてながら、曲想にふさわしい歌い方を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>【評】歌詞や曲想を生かした表現をする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

【 備 考 】